



スクールリポート

SCHOOL REPORT 22
学校生活の一コマ
を紹介

今回は、学校生活の中から、田原中部小学校6年生の社会科授業の様子と、亀山小学校の「魅力ある学校づくり事業」をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原中部小学校

6年生の社会科「戦争と人々の暮らし」

田原中部小学校には、アメリカ合衆国から贈られた「青い目の人形」が残っています。昭和初期から第二次世界大戦前、日本中の学校に1万2000体以上が贈られましたが、今ではおよそ220体にまで減ってしまいました。

6年生の社会科授業で、戦争の悲惨さや人間の弱さと良心を考えるために取り上げ、「戦時中の子どもは、青い目の人形を、どのように思っていたのだろうか」という子どもたちの問いかけから学習が始まりました。資料や戦争経験者からの聞き取りで、当時の田原の人々と戦争との関わりや思いを理解することができたようです。

学習を通して子どもたちからは、「青い目の人形は、学校の宝だ」という感想が聞かれました。今後も、青い目の人形を生かした学習を続け、愛校心や平和を願う心を育てていきたいと考えています。



青い目の人形
(田原中部小学校蔵)



青い目の人形に見入る子どもたち



機織りを教えてもらう様子



昔の半てんを着せてもらう子どもたち

亀山小学校

「魅力ある学校づくり事業」絹糸で機織り

亀山小学校では、平成21年11月にヒノキの香りがする新しい機織り機が届けられました。これまで行っていた蚕の飼育や繭をつかったの生糸引きに加え、布を織る活動ができるようになりました。

子どもたちの期待と興味が高まる中、機織りの活動が始まりました。知識も技術ありませんでしたが、機織り経験がある校区の方々のご指導やご協力を得て、学習の道筋ができました。子どもたちは、「トントンカバリ、トンカバリ」という軽やかな音とともに絹織物ができる機織り機に向かい、地域の方から昔の暮らしぶりを聞いたり、物を作り出す喜びや創意工夫の大切さを学んだりしました。

亀山地域に、古くて新しい文化が一つ誕生しつつある手応えを感じています。

●中学生の職場体験を6月7日月から11日金に行います

市内の事業所で、東部中学校・野田中学校・赤羽根中学校・伊良湖岬中学校・泉中学校の2年生333名が職場体験をします。ぜひ声をかけてあげてください。

なお、田原中学校と福江中学校は11月8日(月)から12日(金)に実施する予定です。

